



当院の概要と電話通訳の利用事例



1

武蔵野徳洲会病院

都内23区に隣接し、東京の住んでみたい街「吉祥寺」を包括する人気のエリア、武蔵野地区。その一角を占める「西東京市」のJR中央線「武蔵境駅」と西武新宿線「田無駅」の中間に位置した閑静な住宅街に2015年6月1日にオープンしました。隣には介護老人保健施設「武蔵野徳洲苑」150床を併設しています。



2

北多摩北部医療圏

東京都 二次保健医療圏



3



4

住所・・・東京都西東京市向台町3丁目5-48

機能・・・一般急性期・医療療養

病床・・・303床（一般253床・療養50床）

診療科・・・内科、循環器内科、消化器内科、肝臓内科、腎臓内科、小児科
外科、消化器外科、泌尿器科、婦人科、整形外科、脳神経外科
乳腺外科、形成外科、放射線科、麻酔科、皮膚科、リハビリテーション科
救急科、耳鼻咽喉科、血管外科、歯科口腔外科、病理診断科

その他・・・血液浄化センター42床、手術室10室（稼働4室）、内視鏡室、
健康管理センター、リハビリテーション

設計・・・株式会社 山下設計

施行・・・大成建設 株式会社

構造・・・免震構造（地上6階・地下1階）

面積・・・敷地面積 13,178㎡（≒3,986坪） 延べ床面積 35,080㎡（≒10,611坪）

当院の沿革

2015年(平成27年) 6月1日・・・開院・保険医療機関指定、稼働155床でスタート

2015年(平成27年) 12月1日・・・東京都救急告示病院指定

2016年(平成28年) 1月1日・・・西東京市医師会加入、西東京市予防接種事業開始

2016年(平成28年) 4月1日・・・西東京市健診事業開始、稼働200床に増床

2016年(平成28年) 5月20日・・・「かかりつけ病院」商標登録

2016年(平成28年) 9月1日・・・許可床210床フルオープン

2017年(平成29年) 1月1日・・・東京都指定二次救急医療機関

2017年(平成29年) 3月1日・・・東京都地域救急医療センター指定、国土交通省「短期入院協力病院」指定

2017年(平成29年) 4月21日・・・東京都災害拠点連携病院指定

2017年(平成29年) 7月7日・・・調整困難者(吐血患者)受入指定病院指定

2017年(平成29年) 8月1日・・・東京都脳卒中急性期医療機関認定

2017年(平成29年) 10月16日・・・**外国人患者受入拠点病院認定**

当院の沿革

2017年(平成29年)11月10日・・・「ERアフターコール」商標登録

2018年(平成30年)3月2日・・・病院機能評価 3rdG;Ver1.1認定

2018年(平成30年)4月1日・・・日本乳がん検診制度管理中央機構、マンモグラフィ健診施設画像認定

2018年(平成30年)12月5日・・・JMIP(外国人患者受入れ医療機関認証制度)認定

2019年(平成31年)3月29日・・・許可病床36床増床許可

2019年(令和元年)10月1日・・・246床オープン

2020年(令和2年)4月23日・・・西東京市発熱外来開設

2020年(令和2年)5月14日・・・西東京市医師会PCR検査センター開設 東京都地域外来・検査センター指定

2020年(令和2年)7月14日・・・「東京都感染症診療協力医療機関」
「東京都新型コロナウイルス感染症疑い患者受入協力医療機関」
「新型コロナ疑い救急医療機関」指定

2021年(令和3年)4月1日・・・許可病床57床増床許可

2021年(令和3年)10月1日・・・法人合併により開設者が医療法人徳洲会に変更

2022年(令和4年)10月1日・・・303床オープン予定

7

当医療圏内は西東京市
をはじめ人口増加中

市別の人口数

人 口	R4年2月現在
西東京市	205,645
小平市	195,361
東村山市	151,575
清瀬市	74,933
東久留米市	117,029
合 計	744,543

北多摩北部医療圏



8

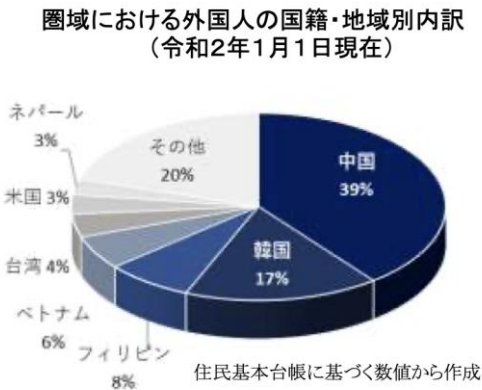
西東京市の外国人住民

単位:人

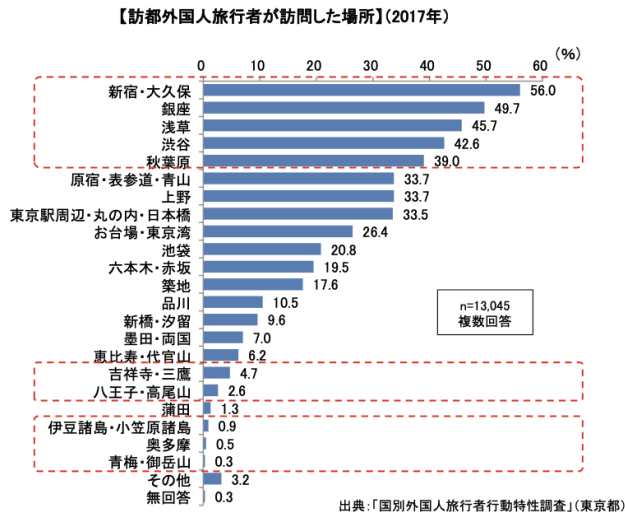
中国	1861→1978
韓国	873→879
フィリピン	301→301
ベトナム	282→249
台湾	223→160
米国	129→154
ネパール	84→127
インドネシア	79→78
タイ	65→64
英国	48→49
インド	41→31
ミャンマー	40→64
ブラジル	37→36
スリランカ	34→34
フランス	29→31
バングラデシュ	27→24
モンゴル	26→15
ロシア	22→25
マレーシア	22→19
その他	302→295
合計	4525→4599

2017年→2022年2月1日

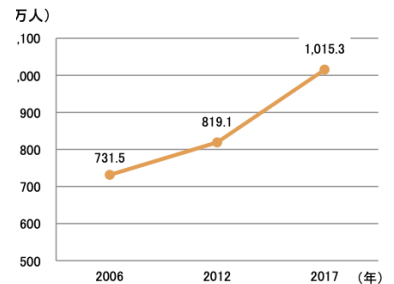
多摩北部



訪都外国人旅行者の訪問地域



【西多摩地域の入込観光客数(※国内旅行含む)】



出典:「西多摩地域入込観光客数調査報告書」
(西多摩広域行政圏協議会)

当院の外国人患者受入れ体制

通訳専従職員 1名

国際医療支援室 稼働(平成30年2月)

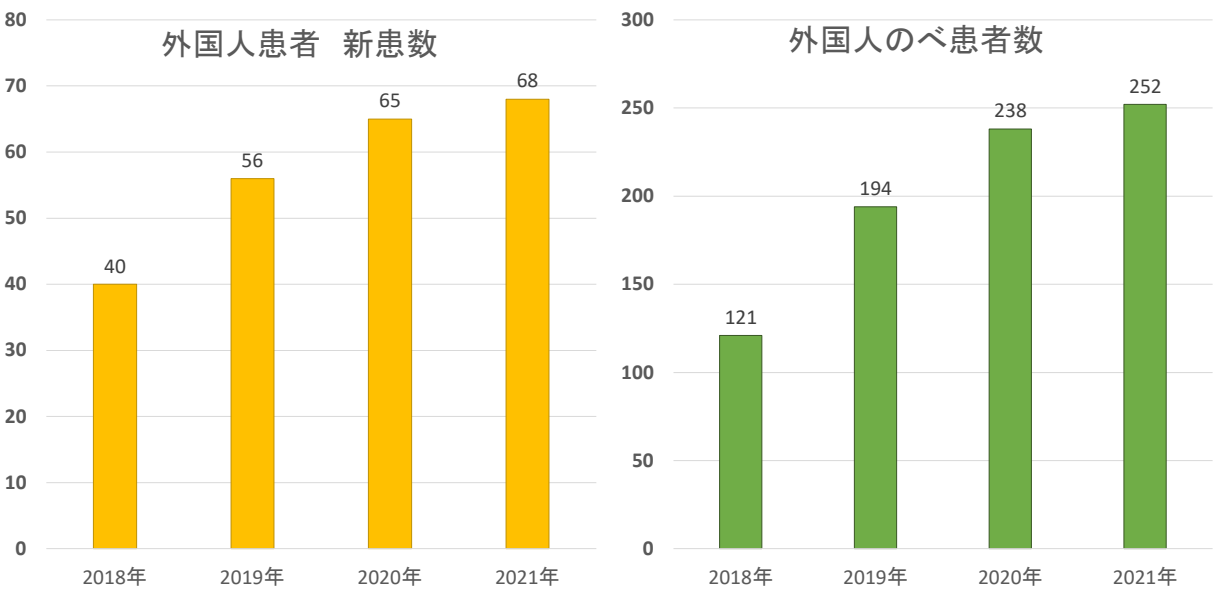
対応言語: ・英語 ・中国語

その他契約中の通訳方法

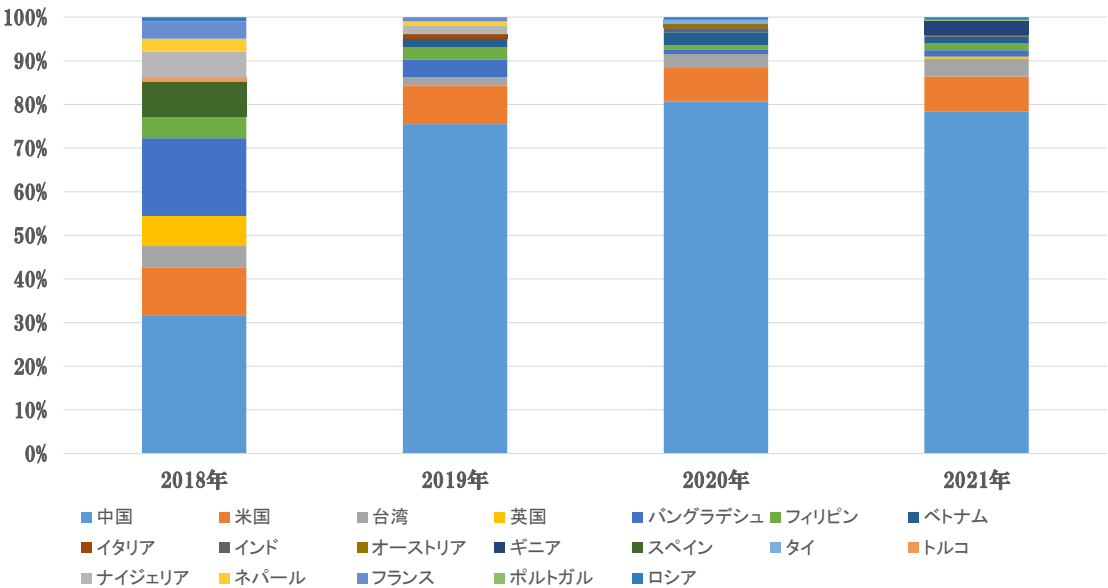
- ・メディフォン電話医療通訳(英語・中国語)24時間
- ・メディフォンiPad(タイ・フィリピン・ネパール・ヒンドゥー・仏・露)
- ・AMDA(国際医療情報センター)電話医療通訳(英・中・韓・西・葡・タイ)
- ・東京都救急通訳サービス

その他 voicetra、google翻訳アプリ

武蔵野徳洲会病院の外国人患者受入れ



国別のべ患者(%)



当院の電話通訳について

救急件数の増加に伴い、外国人患者対応の必要性が高まる。特に夜間休日の外国人対応に対する不安。
(当時は国際医療支援室未開設)

院内で電話通訳の導入を検討

A社電話通訳契約(英語・中国語・韓国語)
→医療通訳ではないため医師や看護師等の現場から不安の声

東京都救急通訳サービス登録・・・英語・中国語による平日(17:00～20:00※現在は24時間)休日対応
→救急外来で夜間休日に使用開始

院内の電話機を3者間通話対応に改修

東京都医師会 団体契約を通じた電話医療通訳に参加
メディフォンの利用を開始

医療通訳であること 3者間通話を利用した通訳に対応できること等が院内で評価される

A社電話通訳を解約し、メディフォン株式会社と契約

現在、メディフォン株式会社の電話通訳、iPad通訳を契約中

15

院内での運用方法

全職員に対して入職時オリエンテーションで電話通訳の方法を説明

イントラネットに通訳ツール一覧表を掲載

全部署に紙の対応フローを印刷して掲示

使用した際のアンケート回収

利用事例

平日深夜 20代男性(近隣大学の留学生)が救急車で来院。来院時から日本語が通じなかったため、救急外来看護師から東京都救急通訳サービスに電話。院内PHSを用いて2者間通話で通訳してもらいながら診療。

平日深夜 50代女性が事前連絡なしにウオークイン。受付時から日本語が通じなかったため、受付事務員から東京都救急通訳サービスに電話。院内PHSを用いて2者間通話で通訳してもらいながら診療。

休日日中 女性から受診の相談の電話。電話に出た事務員から東京都救急通訳サービスに電話。三者間通話で通訳してもらいながら会話。受審には至らず。

16



ご清聴ありがとうございます